



University of the Ryukyus Library Bulletin Vol.30 No.1(No.113) Jan. 1997



館長就任のご挨拶

附属図書館長 金城 昭夫

去る11月1日付けで附属図書館長を拝命いたしました。図書館と直接かかわりを持つようになったわけですが、これまでは専ら利用者として、いくつかの図書館との出会いがありました。

終戦5年目の片田舎の高等学校の図書室が最初でした。田舎の村には「家の光」しかなかった頃のことです。何もかもが灰じんじんに帰したと思っていましたので高校の図書室に予想外に本

があるのに驚きました。つい、1、2年前の中学では国語の本を写本して使ったことがあったからです。このときまで、小説らしい小説には一度もお目にかかったことがなかったような気がします。開架式だった高校の図書室で何気なく手にとった本が「復活」でした。むさぼるように読んで夢とも現ともつかない世界にはこぼれたことを思い出します。

目次	次
館長就任のご挨拶	1
平成7年度大型コレクション「ランドルト・ベルンシュタイン：包括的な数値表」について	3
CD-ROM情報検索システムの使用法(2)	4
学術雑誌の1997年度新規・中止	7
台湾大学より真境名安興編『琉歌大観』とどく	10
本学紀要類紹介：－シリーズ 5－	14
図書館ボランティア活動開始	15
沖縄関係資料新着案内	16
本学教官著作寄贈図書案内	22
図書館事情	23
お知らせ	25
医学部分館だより	25

附属図書館の電子広報 (<http://lib1.lib.u-ryukyu.ac.jp/>) もご覧下さい。

大学時代の図書館は始め古い木造でした。寒い冬、部屋は周囲を走っているスチームパイプで暖房されていましたが、充分ではありませんでした。閲覧室の中央には大きな石炭ストーブが赤々と燃えていて、その近くの席を取り合ったことが図書館の記憶と強烈に結び付いています。間もなく学部のキャンパスに移り、立派な図書室を利用するようになりましたが、あまり記憶には残っていません。

大学院時代の図書館、ここはもう文献をコピーする場所という印象が強い。1960年代の始め頃でしたが Xerox のコピー機が自由に使えるような時代になっていました。この図書館には、学術雑誌などの他にドイツの著名な有機化学者 Emil Fischer (1852-1919, 1902年ノーベル賞受賞) 直筆の実験ノートがガラスケースに陳列してありました。文献のコピーに明け暮れた殺伐としたときでも陳列ケースをのぞいていると不思議に安らぎと感動を覚えたものです。そこはアメリカの大学でしたが、日本語の小説も沢山所蔵していました。慣れない英語にくたびれたときなど、書架の片隅で小説に読み耽ったこともありました。

本学へ採用されて、28年間附属図書館にはお世話になっています。重たい Chemical Abstracts の一冊一冊を机まで抱えて行って索引をくり、索引から目的の文献にたどり着くのに何日もかかることがありました。千原へ越して来て、気がついてみれば、関係者の皆さんのご尽力によって、いつのまにか図書館もコンピュータリゼーションの時代に入っていたのです。参考調査係へお願いすれば、アメリカのデータベースへアクセスして、探している文献を瞬時にして突き止め、論文の載っている雑誌名等をプリントアウトしてくれるようになりました。ずいぶん効率良くなったと感心したものです。

更に平成8年4月、前任者の比嘉良充館長のときに、附属図書館では学内 LAN を利用した CD-ROM情報検索システムのサービスの試行運用を行い、5月の連休明けから本運用を開始しました。また、6月には「図書館新電子計算機システムの始動式」が行われています。そ

して、8月には私自身 CD-ROM 情報検索の説明会を受講しました。コンピュータの端末から各自がいろいろな情報に直接アクセスできることを目のあたりにして、時代が大きく動いていることを実感させられました。同時に私にも使いこなせるようになるのだろうかという一抹の不安が脳裏をよぎったのを覚えています。それから間もなくして、桂学長から図書館長のお話がありました。CD-ROMの説明会のことを思い出して私にやっていけるのか、気になりましたが、変わりつつある図書館にかかわってみたいという思いもあってお引き受けすることになりました。

これからの図書館ですが、電子化には一層の拍車がかかるものと思われます。目的とする情報の所在が一瞬にして突き止められ、その情報が居ながらにして入手できるようになりたいものです。また、情報を電子化する発信地としての機能の強化も要請されつつあります。同時に、大学図書館は若者に夢を与える場所でもなければなりません。図書館長に就任して二ヶ月程が経ったところですが、改めて責任の重大さを痛感しています。

幸いにして、歴代の図書館関係者によって立派なレールが敷かれています。電子図書館への移行方針、CD-ROMデータベースの蓄積、沖縄を発信源とする情報のデータベース化などです。平成9年度科学研究費を申請して、本図書館の沖縄関係資料コレクションのデータベース化を端緒に、今後は本学農学部事務局をおく ISME (International Society for Mangrove Eco-systems) に世界68ヶ国から寄せられるマングローブ関係資料のデータベース化、本学熱帯生物圏研究センターを中心とする琉球弧研究に関する資料のデータベース化、更に沖縄方言資料データベース化などを行う計画もあると聞いています。

図書館員の皆さんと共にレールの上を一步づつ前進したいと考えています。教職員並びに学生の皆さんのご教示をお願いします。

(きんじょう あきお :理学部教授 物理化学)

平成7年度大型コレクション

「ランドルト・ベルンシュタイン:包括的な数値表」について

理学部 矢ヶ崎 克馬

ランドルト・ベルンシュタイン数値表新シリーズ第3巻「結晶物理学および固体物理学(凝集状態)」(21冊;英語版)が大型コレクションとして図書館に入りましたのでご紹介します。

通称「ランドルト・ベルンシュタイン数値表」と呼ばれているこのデータブックの正式の名称は「Landolt-Börnstein: Zahlenwerte und Funktionen aus Physik, Chemie, Astronomie, Geophysik und Technik」。パイルシュタイン(有機化学全書)、グメリン(無機化学全書)と並ぶ包括的な数値表として、ランドルト・ベルンシュタイン数値表は物理、化学、天文、地球科学および工学の分野の数値・データを極めて広い範囲にわたって収録しています。

初代編集者であるランドルトとベルンシュタインが、「選択された活用できるデータを簡単に修正できる形で研究者のデスクの上に確保する必要」を認識して、今から110年以上も昔の1883年に刊行して以来、現在で第6版(28 books)を数えており、さらに、新シリーズ「Neue Serie」(Landolt-Börnstein: Zahlenwerte und Funktionen aus Naturwissenschaften und Technik)(50 books)がSpringer Verlagから刊行されています。

旧版は4巻から構成され、第1巻が原子物理学と物理学、第2巻が物質の集合状態の性質、第3巻が天文学と地球物理学、第4巻が工学という内容になっています。

新版は7巻(名称改訂以前は6巻)の構成で、第1巻が素粒子物理学と核・原子、(以前の名称は核物理学と素粒子物理学)、第2巻が分子

およびラディカル(以前の名称は原子・分子物理学)、第3巻が凝集状態(以前の名称は結晶物理学と固体物理学)、第4巻が物理化学(以前の名称は物質の巨視的性質)、第5巻が地球物理学、第6巻が天文学・天体物理学、第7巻が生物物理学からなっています。

グループの名称は内容をより良く記述することに配慮して変更されました。各章にはその分野の体系が簡潔に要領よくまとめられており、その分野の理解に役立ちます。現在も新しいデータ集が刊行され続けています。

現在は一つの分野から膨大な数の論文が毎年出版されており、研究の分野も細分化され、かつ、相互の分野の関連性も深く、複雑さを増しています。このような研究をめぐる状況の下では、ランドルト・ベルンシュタインの様なデータブックはますます重要な役割を担います。

この大型コレクションが琉球大学図書館に入ったことで、我々の研究展開に対して大きな励ましが与えられたと痛感しておりますが、他大学の方に対しても図書館網を通じてお役に立てば幸いと願っています。

(やがさき かつま: 物質地球科学科教授)

上記資料の配架場所は2階開架閲覧室の参考資料コーナーです。

請求記号は R
4 0 3
L A

CD-ROM 情報検索 システム の使用方法 (2)

— Current Contents * (Multi-Issue Search) —

I. CC(Current Contents) Issue データ選択までの操作手順

*カーソル移動は矢印キーで操作し、ESCキーで前の画面に戻ります。

- (1) 図書館でセットアップされているCD-ROM情報検索メニュー画面から、2.Current Contents を選択し、2を入力します。
- (2) メッセージ画面になるので、Enter キーを押します。
- (3) Current Contents のメインメニューが表示されます。
- (4) メインメニューの CC issue からサブメニュー Open CC issue... を選択しEnterキーを押します。
- (5) CC Issues データの一覧が表示されるので、どれか一つを選択します。(一度に複数のデータベースは選択できません。)
- (6) メッセージ画面になるので、Enter キーを押します。

II. 機能及び操作

1. Browse (コンテンツ拾い読み)

カレントコンテンツ冊子体と同様に雑誌の目次情報を見ることができます。

メインメニューで Browse にカーソルを合わせると、下のようなサブメニューが表示されるので、それぞれカーソルを合わせて Enter キーを押すか、ファンクションキーを押します。

- (1) CC issue (ファンクションキーF・2)
I (5)で選択したデータに掲載されている最初の雑誌のコンテンツが表示されます。
- (2) By Dicipline... (ファンクションキーF・3)
分野の一覧が表示され、分野を選び Enterキーを押すと、その分野に登録された最初の雑誌のコンテンツを見ることができます。
- (3) By Source title... (ファンクションキーF・4)
Current Contents の情報源である雑誌の一覧が表示され、雑誌名を選び Enter キーを押すと、その雑誌のコンテンツを見ることができます。
- (4) オプション
画面下のオプションで、著者や出版物の情報を参照したり、文献情報の印刷等もできます。また、次の雑誌、前の雑誌に移る場合もオプションの表示に従って下さい。使用できるオプションはライティングされています。

2. Search (フリーワード検索)

任意のことばから文献を検索します。

メインメニューで Search にカーソルを合わせ、サブメニューの Search Session を選択して Enter キー (またはファンクションキー F・9) を押すと、検索画面になります。

(1) 検索画面での操作

- a. 画面下のオプション、Alt-Fields (Alt キー + F キーを押す) でフィールドサブメニューの一覧を出し、検索したい分野にカーソルを合わせて Enter キーを押します。

*検索分野には Basic (文献タイトル、キーワード)、Title (文献タイトル)、Author (著者名)、Source (文献掲載の雑誌名)、Set (組み合わせ) 等があります。

- b. 選んだ分野が画面の Field 欄に反映されますので、Search statement の欄に検索語を入力し Enter キーを押します。

*検索語の語尾に * をつけると * より前方の語で検索します (前方一致)。検索語の先頭に * をつけると * より後の語で検索します (後方一致)。また、検索語の中に * をつけると * の両側が一致する言葉、あるいは先頭と語尾に * をつけると * では含まれた言葉を検索します (任意一致)。

- c. 画面の Records の欄に、検索結果の文献件数が表示されます。

(2) 検索結果の表示

- a. 画面下オプションの F・5 = Search results (ファンクションキー F・5) を押しますと、検索した文献の第一番目の詳細画面が表示されます。

*次の文献に移る場合は画面下オプションの Next Record (N キー)、前の文献に戻るときは Prev Record (O キー) を入力します。また、表示されている文献情報のフロッピーディスクへの保存や印刷等も画面下に表示されたオプションで操作します。使用できるオプションはライティングされています。

3. 検索式の保存・呼び出し

(1) 保存

- a. 検索画面で作った検索式をファイルに保存する場合は、検索画面下オプションの Alt-Save Profile (Alt + S キー) を押し、任意のファイル名を入力して Enter キーを押します。

(2) 呼び出し

- a. 保存した検索式を呼び出す場合は、画面下オプションの Alt-RunProfile (Alt + R キー) を押して PROFILES よりファイル名を選択し、Enter キーを押します。

(3) 消去

- a. 検索画面上の検索式を消す場合は、Alt-Clear Session (Alt + C キー) を押します。
- b. 登録している検索式を消す場合は、メインメニュー Search のサブメニュー Delete profile..

にカーソルを合わせ、PROFILES よりファイル名を選択し、Enter キーを押します。

- c. a.b.いずれも消して良いか確認してきますので、消して良い場合はY (Yes) と入力します。

(4) 作成

- a. 新たに検索式を作成する場合は、メインメニューのSearchのサブメニューEdit profile... にカーソルを合わせ Enterキーを押します。
- b. PROFILES の<NEW>でEnter キーを押し、任意のファイル名を入力し検索式を入力、画面下のオプションのAlt-SaveProfile (Alt + S キー) を押します。

*ここでは検索式の Record 数は表示されません。検索式の作成・登録のみです。

4. Result (検索結果の表示)

メインメニューの Result のサブメニュー Search result (またはファンクションキー F・5) にカーソルを合わせ、Enter キーを押します。

*操作は2 (2) 及び3に同じ。

III. 終了手順

- (1) Esc キーを押してメインメニュー画面に戻り、Quit にカーソルを合わせてサブメニュー Ctrl Q を選択し、Enter キーを押します。
- (2) 終了して良いかどうか、確認してきたら Y (Yes) キーを入力します。
- (3) 最初の画面、メニュー画面に戻ります。

IV. Multi-Issue Search での検索

ここでは2. Current Contents で登録した検索式での検索となり、キーワードを直接入力しての検索はできません。データベースは一度に6件まで選択できます。

- (1) CD-ROM情報検索メニュー画面から3.Current Contents (Multi Issue Search) を選択し、3を入力します。
- (2) メインメニューのCC Issue のサブメニュー Select CC issues... にカーソルを合わせて Enter キーを押します。
- (3) データ一覧からデータを選択し、スペースキーを押しますとデータの先頭に◆マークが付きます。(一度に6件まで選択できます。) 選択が終わったら、Enter キーを押します。
- (4) メインメニューの Search のサブメニュー Select and run profile... にカーソルを合わせ Enter キーを押して、PROFILES の検索式一覧から式を選択し、Enter キーを押します。
- (5) 画面の表示に従って操作します。 (参考調査係)

1997年新規購読外国雑誌

誌名		購入学科
1 Abdominal Imaging	6N	医学・放射線医学
2 Academic Radiology	12N	医学・放射線医学
3 Behavior Therapy	Q	教育・教育心理
4 Bulletin for international fiscal documentation	M	法文・経済・経済
5 British journal of educational studies	4N	教育・教育
6 Cardiovascular and Interventional Radiology	6N	医学・放射線医学
7 Clinical Social Work Journal	4N	法文・人文・地域・社会科学
8 Cognitive Therapy and Reseach	6N	教育・教育心理
9 Economy and Society	Q	法文・法政・政治学
10 Educational Psychologist	Q	教育・教育心理
11 European taxation: a fortnightly review	M	法文・経済・経済
12 Federal Reserve Bank of New York Quarterly Review	5N	法文・経済・経済
13 History of education:the journal of the History of Education	4N	教育・教育
14 History of Education Society bulletin	2N	教育・教育
15 Human Reproduction	M	医学・産科婦人科
16 International Review of Law and Economics	Q	法文・経済・経済
17 International VAT monitor	6N	法文・経済・経済
18 Investigative Radiology	M	医学・放射線医学
19 The Japanese Economic Review	Q	法文・経済・経済
20 Journal of Analytical Toxicology	7N	医学・法医学
21 Journal of Anxiety Disorders	6N	教育・教育心理
22 Journal of Behavior Therapy and Experimental Psychiatry	Q	教育・教育心理
23 Journal of Economic Surveys	4N	法文・経済・経済
24 Journal of educational administration and history	2N	教育・教育
25 Journal of Endourology	B-M	医学・泌尿器科学
26 Journal of Forensic Economics	3N	法文・経済・経済
27 Journal of Interventional Radiology	4N	医学・放射線医学
28 Journal of Law and Economics + Journal of Legal Studies	S-A + S-A	法文・経済・経済
29 Journal of Vascular and Interventional Radiology	B-M	医学・放射線医学
30 Nursing	M	保健・基礎看護学
31 Music Perception	Q	教養・心理
32 National Bureau of Economic Research Working Papers: Monetary Economics		法文・経済・経済

33 Psychology and Aging	Q	教育・教育心理
34 Review (Federal Reserve Bank of ST.Louis)		法文・経済・経済
35 Scanning Microscopy	Q	医学・泌尿器科学
36 Scientia Horticulture	16N	農学・生物生産
37 Seminars in Interventional Radiology	4N	医学・放射線医学
38 Social Work Abstracts	Q	法文・人文・地域・社会科学
39 Tax news service	W	法文・経済・経済
40 Taxes and Investment in Asia and the Pacific: 1996		法文・経済・経済
41 The Times educational supplement	W	教育・教育
42 Vision Research	24N	工学・電気電子

1997年新規購読国内雑誌

1 LD (学習障害)	年2回	教育・特殊教育
2 QUALITY NURSING	月刊	保健・地域看護学
3 アニテックス	年6回	医学・動物実験施設
4 化学と生物	月刊	熱帯生物圏研究センター
5 近代教育フォーラム	年刊	教育・教育
6 金融法務事情	月3回	法文・法政・法律学
7 産婦人科治療	月刊	医学・産科婦人科学
8 産婦人科の実際	月刊	医学・産科婦人科学
9 生物の科学 遺伝	月刊	熱帯生物圏研究センター
10 地域保健	月刊	保健・地域看護学
11 日本教育行政学会年報	年刊	教育・教育
12 日本教育経営学会紀要	年刊	教育・教育
13 日本教育政策学会年報	年刊	教育・教育
14 日本教育法学会年報	年刊	教育・教育
15 日本語学	月刊	教養・日本語
16 比較教育学研究	年刊	教育・教育
17 保健婦雑誌	月刊	保健・地域看護学

1997年購読中止外国雑誌

1 Acta Scientiarum Mathematicarum (Standing Order)	理学・数学
2 Agronomy Journal	農学・生物生産
3 Anatomia, Historogia, Embrologia	農学・生産環境
4 Animal Learning and Behavior	法文・人文・教育心理
5 Annals of Pure and Applied Logic	理学・数学
6 Aviation Week & Spacetechnology	教育・社会
7 Behavioral Science	法文・法政・政治学
8 Biological abstracts	共通/理学・生物・海洋
9 British Veterinary Journal	農学・生物生産
10 Canadian Journal of Experimental Psychology	法文・人文・教育心理

11 Economic Botany	農学・生物生産
12 Elemente der Mathematik	理学・数学
13 Experimental Agriculture	農学・生物生産
14 Hereditas	農学・生産環境
15 Hyakushou (百姓)	法文・法政・政治学
16 Journal of Experimental Botany	農学・生物生産
17 Journal of Food Protection	農学・生物生産
18 Journal of Geophysical Research : Space Physics, Section A	工学・電気・電子
19 Journal of Invertebrate Pathology	熱帯生物圏研究センター
20 Journal of Symbolic Logic	理学・数学
21 Kyuju Nendai (九十年代)	法文・法政・政治学
22 Mathematikunterricht	理学・数学
23 Medical Physics	医学・放射線医学
24 Physics in Medicine and Biology	医学・放射線医学
25 Psychobiology	法文・人文・教育心理
26 Psychonomic Bulletin & Review	教育・教育心理
27 Radiation Research	医学・放射線医学
28 Resultate der Mathematik	理学・数学
29 Semigroup Forum	理学・数学
30 Seminars in Oncology	医学・放射線医学
31 Seminars in Roentgenology	医学・放射線医学
32 Seminars in Ultrasound, CT & MRI	医学・放射線医学
33 Sex Roles	教育・教育心理
34 Soils and Fertilizers	農学・生産環境
35 Topics in Magnetic Resonance Imaging	医学・放射線医学
36 Transportation Research Record	工学・環境建設
37 Yearbook of Diagnostic Radiology	医学・放射線医学
38 Zeitschrift fuer Angewandte Mathematik und Mechanikzann	理学・数学
39 Zentralblatt fuer Mathematik und Ihre Grenzgebiete/Mathematics Abstracts	理学・数学

1997年購読中止国内雑誌

1 家政学研究	教育・家政
2 小児保健研究	教育・家政
3 油化学	教育・家政
4 アジア経済/アジア経済研究所	法文・法政・政治
5 アジア経済資料月報/アジア経済研究所	法文・法政・政治
6 肝胆膵	医学・外科学第一
7 月刊セクシャルサイエンス	保健・母子保健学
8 周産期医学	保健・母子保健学

台湾大学より真境名安興編『琉歌大観』とどく

法文学部 池宮 正治

この夏いわゆる幻の「琉歌大観」のマイクロフィルムが台湾大学研究図書館より琉球大学附属図書館へ届いた。私にとっては待望の琉球文学資料である。

この「琉歌大観」の存在が分かったのは、一九八六年の初夏静岡女子短大の須田悦生先生の「台湾大学研究図書館蔵日本古典籍目録」を見て以来のことである。さっそく須田教授に連絡を取る一方、新聞にも「幻の琉歌集一笑古本『琉歌大観』」（沖縄タイムス八六年六月五日）の一文を発表して注意を喚起するとともに、琉球大学図書館にも入手方の協力を依頼した。あれから丁度十年になる。私自身は六年前の一九九〇年十一月、台湾の台北市で開催された第三回琉球中国歴史関係国際学術会議に出席して、台湾大学研究図書館で他の琉中関係資料とともにこの「琉歌大観」五冊を見る機会を得ている。初めて実物を手に取って見たあの時の感激は、今でも鮮明に蘇る。この十年歴代の学長、事務局長、図書館長、同事務部長、司書、同僚の教官など実に多くの方が、これを入手するために奔走し、今日の実現をみたのであった。琉球文学を専攻しもっとも恩恵を受ける者として、関係各位の粘り強い努力に改めて敬意を表する次第である。またマイクロフィルムを提供してくれた台湾大学当局の好意にも厚く感謝申し上げる。

さて真境名安興のこの「琉歌大観」の概要については、先の「幻の琉歌集」でも紹介したが、この度入手した「琉歌大観」がどのようなもので、またどのような経緯をたどって台湾大学にあるのかといったことについて、その後に分かったことなども加えて、若干述べておきたいと思う。

真境名安興つまり笑古が中心になって編纂された「琉歌大観」の概要そのものは、早いところでは明治四十二（一九〇九）年十二月七日付の沖縄毎日新聞の記事に「琉歌大観の出版」と題してその内容が紹介されていることで知られ

る。三十字詩（琉歌）が三千余首、おもりの代表的なものが五十首、クワイニャ、テルクグチ、口説、劇詩（組踊）二編、宮古の歌全部、大島の歌の一部を内容とする「琉歌」をまとめて、来年度に出版の運びになっているとして、予約まで募っている。だがこれがどういう事情があったのか結局は出版されず、真境名氏は昭和八（一九三三）年十二月那覇で死去している。盟友の伊波普猷は、その追悼文の中で、同君の『琉歌大観』を東京で出版しようとの誘いもあったが、もう少し加筆するところがあるといつて、真境名が断ったために出版が果たせなかった、と述べている。はたして伊波がいうように、真境名の都合だけで不発に終わったのかどうか。

その後笑古稿本は遺族の手を離れて神奈川県鎌倉の古書店幽学荘舎に移り、そこから昭和十五年九月売りに出されている。東恩納寛惇のスクラップ・ブックにはこの時の目録の該箇所が貼付されている。これを見ると「琉歌大観稿本」とあり、やや詳しい説明が付いている。

沖縄図書館長真境名安興（笑古）自筆ペン書き、本書は実に著者数十年刻苦蒐集並研究の結晶にて、護得久朝惟自筆序文に「古きは西暦一四〇〇年以前より新しきは大正の初期に至る約五百年間の有ゆる歌謡を収め、而も沖縄本島のみならず、宮古八重山の離島をも加へ、更に大島の分をも追加し、従って単に琉歌と言はんよりは寧ろ南島歌謡集の観あり」とある如く、著者の生涯中其博識に触れたる一切の歌謡を網羅せる事は、其紙数に由ても知らる。而も単に輯録に止らず、研究推敲を重ね、参考書目、作者姓名索引を付し、歌謡解釈を録し、編年的に分類列叙し、難句詞に就ては頭注解釈し、作者の略歴を記する等全く整備せり。初頭に護得久朝惟（書簡一通）、昇曙夢（七枚）、東恩納寛惇（二十七枚）、三氏の自筆序文を原稿の其儘に付しあり。出版を計画せしも不成に終りしもの如く、書肆としても手放すを惜しむ可き稿本なり。美半取交ぜ——〇〇枚。六冊（中略）。

二百円（句読点は筆者が施す）

そしてこの説明の左に、幸地里之子の「たまの美簾やしらくもにみなちうちにまるる無蔵や御月みなす」の歌と同人室の歌（二首）の箇所の写真が出ている。確かに真境名の筆跡のように思われる。またこの所を台湾本と比較すると、第一巻の複写本の一〇三枚目に相当するところにある。幽学荘舎の写真では目録の文中にもあるように、頭注になっているのが、台湾本では地の文に入ってきている。これは台湾本を謄写した際の変化と思われる、台湾本には頭注のあるものと、このように地に組み入れたものが入り交じり、筆跡も複数認められる。

たぶん「琉歌大観」が売りに出されて沖縄では相当に話題になったのであろう。翌昭和十六（一九四一）年四月二十六日付大阪毎日新聞の沖縄地方欄に「帰って来い、琉歌大観―神奈川県で流浪の旅」と題する記事が出ている。これをみると台湾本は、笑古死後稿本が古書店に処分される以前、沖縄で書写されたことがわかる。

沖縄一千年史の著者で知られる故真境名安興氏（初代県立図書館長）が畢生の心血を注いで書き綴った琉歌大観稿本全六冊（和紙綴一千百枚）は、筆者の歿後台北帝大でその遺書のあることを聞きつけ、数名の筆耕を本県に派して借覧、謄写したほどの珍本だが、その後どうしたわけか、遺族の手を離れて行方不明となり、各方面から大へん惜しがられてゐたところ、最近廻りまわって神奈川県鎌倉郡深沢村の幽学荘舎の手に移り、目下同舎から売物に出ていることがわかったので、喜んだのは多年その行方を探してゐた県立図書館で、早速照会してみると正にその本に相違なかったが、何分ちょっと手に出しかねるやうな値段なので、諸見里館長もさすがに困って取りあへず所有者に転売保留方を頼む一方、具眼の有志を説きまはっているが、果して同書が運よく郷土に戻って来るかどうか、大いに興味視されてゐる。

琉歌大観は発祥以来の琉球歌を分類的に集大成して一々注釈を施した珍しい研究書で、こんど売物に出たのはもちろん著者の自筆本である。

この二つの記事でわかることは、真境名安興自筆稿本が売りに出され、これを察知した沖縄側も買い戻すべく動いたが、二百円という当時

としては破格の高額だったのだろう、ついに不首尾に終わったようである。しかしながら仮に沖縄に買い戻されたにしても、今次大戦の戦火で消滅してしまう悲運に遭遇したかもしれない。

これと関連があるかどうかかわからないが、比嘉春潮の『蠹魚庵漫章』には、笑古の「その稿本は故あって久しく恩河朝蕃君の秘蔵するところであったが、沖縄戦で惜しくも湮滅に帰した」と記されている。二百円の「琉歌大観」を買い戻して持っていたのか、それとも個人的に写し持っていたのか、恩河氏にかかるこの方面の進展はまったくない。

上に紹介した十年前の拙稿の中でも述べたが、一九六四年沖縄タイムスから島袋盛敏氏が『琉歌大観』を出版したさい、その頃在京の一部の先輩がたから、笑古「琉歌大観」がもともたのではないかといった噂話があがった。というのも、盛敏編の「琉歌大観」にはどういう資料に依拠したといった編集上の経過に関する説明がまったくなく、しかも島袋氏はかつて県立図書館の司書を勤めていたこともあって、これまでの笑古「琉歌大観」の編集の経過も承知していたはずで、それでもなお敢えて「琉歌大観」という書名にしたのは、これとの関わりをかえって暗示したものと受け取られたものらしい。とはいうものの、笑古「琉歌大観」はいわゆる琉歌だけを集めたものではなく、組踊も先島の歌も入っている。しかし盛敏本は、琉歌といっても、「古今琉歌集」や「琉歌百控」を中心にして他のいくつかの琉歌を取り込んだものである。問題は他の一般的な歌集に見られず、笑古大観本に見られる琉歌が取り込まれていることである。これが何を意味しているのか、いわば疑念が晴れるのかどうかは、今後のこの琉歌大観を詳細に研究にすることによって明らかになるであろう。

大阪毎日の記事でもう一つ大切なことは、おそらく真境名安興の死後間もなく、台北帝大から沖縄県に人を派遣して「琉歌大観」を書写させている事実である。この時の仕事は台北に今日残っているものと判断してよいだろう。台湾本もこれらの記事に示された内容と矛盾しない。違いは記事や売り立て目録が六冊となっているのに、台湾本が五冊だという点である。これも

子細に見ると、目次と対応するのは四冊目の途中までで、この後半に所属する「宮古島のあやご」と第五冊の「八重山島の歌」は目次にない。しかも四冊目はもっとも分量が多く、ざっと二冊分はある。要するにかつては「宮古島のあやご」は、「八重山島の歌」と同様独立した巻だったことが推測できる。つまりかつて六冊本だった。それが「宮古島のあやご」が第四冊に紛れ込むことによって、台湾本は五冊本になったのである。

台湾本の書誌的な内容について触れよう。今回回来したマイクロフィルムを紙焼にして本文だけで計算すると、第一冊が一一五枚、第二冊が一四二枚、第三冊が九八枚、第四冊（前半が八七枚、「宮古島のあやご」が一七四枚）二六一枚、第五冊が八三枚、合計六九九枚（本文のみ。一枚で二頁にあたる）である。ついでに言うとな元の法量は、マイクロフィルムに付いている台湾大学図書館の記録だと縦二七・五センチ、横二〇センチ（須田目録では縦二七・四センチ、横一九・九センチ）、一面十三行、和装袋綴りである。

これまでも出ているように、第一冊の序文は冒頭琉歌・和歌にも巧みだった当時の衆議院議員護得久朝惟が短い文章を、次いで奄美出身で当時ロシア文学の権威でもあった昇曙夢が概説し、東恩納寛惇が「琉球の歌謡並音楽について」、真境名安興が「短歌及長歌編纂の大意」を書いて専門にわたる概説をしている。いずれも大正六年の年号があり、この時の成立とみてよいだろう。序はこれだけで、伊波普猷がこれに関わった痕跡がないのは何とも解せない。伊波文庫には笑古筆写の資料がいくつも収蔵され、笑古と伊波の長く親しい関係からみて、かえって奇異である。今後の課題としたい。

ついで「参考書目」とあり、五十九の参考資料が示されている。現存する馴染みの資料もあるが伝来していなければ見たいものも少なくない。例えば個人歌集としては山内盛焘の「沖繩絃歌伝聞録」、恩河朝祐の琉歌私家集「玉山歌集」、「今婦仁朝敷詠草」、「浦添王子琉歌写」、明治三十年代から四十年代にかけての琉歌会資料である、糸満琉歌会の「歌道」、垣花琉歌会の「詠歌集」、三六琉歌会の「詠歌綴」、比謝橋

友竹亭琉歌会の「詠草」、浦添朝長蔵の「琉歌集」「詠歌綴」、普天間家蔵「古琉歌集」、保榮茂家蔵「琉歌集」「現代人琉歌詠草綴」「二区五郡俚謡」「見聞令歌集」など、見たことも聞いたこともないものばかりである。「冠船之時組踊及踊」は冠船の踊り方の記録であろう。戌年か寅年か、それとももっと古いものかこれも興味を持てる。「壬申座踊番組」は壬申年つまり明治二十五年（一八九二年）仲毛に出来た女だけの沖繩芝居のプログラムと思われる。短期間で消えた劇団である。これがあれば、沖繩初の女だけの劇団がどういうものを上演したか、当時の様子が伺えたはずだ。これらの資料を参考にしているということは、この琉歌大観がこれらの資料を反映しているということでもある。

次いで「作者姓名索引」とあって五八〇人の琉歌作者が五十音順に並べられている。これは単なる五十音引きの索引で、これはこれで便利だが、琉歌の部の至る所に注の形で個人の伝記に関する書き込みがあり、例えば漢那庸林の唐名が殷秉懿であること、職歴、生没年など、歌人の伝記が知られて興味深い。

次に「歌詞解釈」。これは昭和九（一九三四）年雑誌『方言』四巻十号に「琉歌歌詞解釈」と題して発表されてよく知られたものである。死の翌年に発表された。

これ以下は琉歌作品が紹介される。「尚徳時代より尚敬時代に至る／第一輯自寛正二年（一四六一）至宝暦元年（一七五一）二百九十年間」とあって琉歌があり、第一巻を終わっている。以下順次第二輯第三輯とあって第七輯までつづき、最後の第八輯に大島の歌一七五首を収めている。この大島の歌は伊波文庫所蔵の「大島の歌」（筆写本）から摘出してあるように思える。

第三巻は、第九輯が口説、十がてるくくち、いるちややう、はやりうた、ウシテーク、十一が民謡童謡など、十二が長歌、節歌、十三が短歌（三十字）読人不知、

第四巻、十四輯が狂歌（個人・読人不知）、十五がこゑにや・大城こゑにや、十六が組踊。伊波文庫には笑古筆写の「こゑな」集をはじめ幾つかのキューナ集がある。組踊は伊波普猷編『琉球戯曲集』の底本となった戌の冠船（一八三七年）のテキストから「執心鐘入」と「銘苅

子」の二番を収めている。十七がつらね・吉本の「恋の状」、十八が木遣り・京太郎など。「宮古島のあやご」は、先にも述べたように笑古が明治四十年現地で筆写したもので、伊波文庫にある「宮古八重山の歌」、「宮古島の歌」とも、配列の順番、分量とも一致していて、宮古現地にこれの元になったテキストがあったはずである。

第五冊（実は第六冊）が「八重山島の歌」である。これは伊波文庫所蔵の、先に紹介した笑古筆写の「宮古八重山の歌」の後半「八重山島歌節寄」も参考資料の一つにしたものと思われる。いわゆる三線にのせて歌う節歌である。「八重山島歌節寄」の後ろには喜舎場永恂から伊波普猷へ送られた報告や書簡が綴られている。これには赤馬節から無蔵念仏節まで八七編が収められているが、本琉歌大観の「八重山島の歌」は——二編の節歌が採られている。

ここでいう「琉歌」は、八八八六音四句体の琉歌（短歌）、これより句数を多くする長歌、上句が五五、七五、七七となる仲風（仲歌）といった狭い意味ではなく、奄美以南の琉球列島の歌謡の意である。それでも当時各地に多く残っていた祭祀歌謡はまったく取り扱われていないし、十六輯の組踊と第四冊の宮古島のあやご、八重山島の歌をのぞけば、少しばかり概念を広めた「琉歌」といってよい詩歌・歌謡ばかりである。ただ組踊を「劇詩」と言って琉歌にいれたのは、当時としても斬新だったはずで、つまりこれは西欧では劇は要するに詩劇であり、古くから詩の分野として取り扱われてきたことを念頭においたものであろう。短詞形琉歌を「三十字詩」といった発想も、定型の叙情詩つまり「詩」として捉える「近代」の文学的な発想に基づいている。この命名者が笑古その人で、「琉歌大観」の編集をことあげした明治四十二年に「三十字詩」とよぶ新作琉歌を発表しつづけ、また三十字詩の歌会も催している。その時真境名は柳月庵の雅号を使って、硝子窓もれる洋琴の音も芭蕉の葉の雨に絶えていきゆさ 絵師の刷毛あとか夏雲の切れか 久米渡からこがた粟国渡名喜 といった新しい琉歌を歌っている。当時大変な賑わいを示していた琉歌・和歌の歌会が、実は古臭い兼題や当座といった題

詠の月並み歌会であったことを思えば、真境名の意気込みと、近代の詩を良く理解した先見性が見て取れる。こうした目を持った真境名の手によって編まれたのが、笑古本「琉歌大観」であったのである。

ただ「劇詩」や「三十字詩」という言い方に時代の清新さを感じるものの、明治四十二年を逆上る丁度六十年前、小橋川朝昇は「（琉球）大歌集」を編集した際、長短のいわゆる琉歌を中心に、口説・つらね、組踊、木遣り歌、クワイニヤ・やらし、念仏等の歌を七巻で構想していたことが分かっている。組踊を琉歌に加えたのは笑古の独走とはいえないし、先島や大島の歌を除けば、全体構想も相当によく似ている。これを参考にしたのか、それとも単なる暗合なのか。「琉歌大観」はいま現れたばかりであって、結論を急ぐ必要はあるまい。

全体を見て、一つの疑問は、上の明治の新聞で「オモロと宮古のアーゴは伊波文学士が分担」するとあるのに、結局おもしろは収められず、伊波の序文も得られなかった点である。師の田島利三郎の論文を二人共同でまとめた、『琉球文学研究』（大正十三年刊）の序で、笑古は「物外氏と余との共纂に係る琉球諸島に於ける古今の歌謡を集めたところの『琉歌大観』の稿本」と言う言い方をしており、笑古じしん伊波との共編を終始心づもりにしていたようだが、ついに伊波の協力は得られず、未完に終わったということのようである。とすれば、出版されなかった最大の障害は、伊波がいう、真境名の加筆云々にあるのではなく、実は伊波がおもしろを選び入れなかったことにあるのではないか、と思われてならない。おもしろが入らなくては画竜点睛を欠くことは明白である。真境名の力量でおもしろを五十首選ぶのはたいしたことではなかっただろう。何故なら、彼もしばしばおもしろを引用しているからである。それでも伊波の協力を待ちつづけたのは、伊波が自他ともに許すおもしろ研究の権威でもあり、また中学以来の親友でもあれば、真境名はただ待つしかなかったのではないか。当否はなお定めがたいが、全体を読んだ率直な印象である。

とまれ積年探し求めてきた「幻の琉歌集」である「琉歌大観」が、いまこうして手元にある。

尽力された関係の各位に感謝しつつ、私には鑑賞と謎解きの至福の時が待っている。

(いけみや まさはる：日本・東洋文化科教授
琉球文学)



本学紀要類紹介： —シリーズ 5— 法文学部

『琉球大学法文学部紀要 地域・社会科学系篇』
(Bulletin of the College of Law and Letters, University of the Ryukyus: Geography, Sociology, and Cultural Anthropology)

発行者：琉球大学法文学部、人文学科、地域・社会科学系

1995年3月創刊 A5判 年刊

ISSN 1341-9196

本誌は、琉球大学法文学部人文学科地域・社会科学系の研究紀要として、平成6年度に創刊され、創刊号が同7年3月に発行されたばかりの新しい紀要である。

地域・社会科学系は、法文学部における、平成5年10月の学部改組に伴って、従来の史学科地理学専攻および社会学科社会学専攻を中心に新たに設置された教育研究組織であり、構成分野としては、人文地理学、地誌学、考古学、社会学、社会福祉学、地域福祉学、マスコミ学、社会人類学から成っている。

したがって、本誌は、その発行母体である地域・社会科学系ともども、その歴史はまだ始まっ

たばかりであるが、しかし、改組前の旧史学科では『法文学部紀要史学・地理学篇』として創刊第37号まで、同じく旧社会学科では『社会学篇』として創刊第36号までの発行実績がすでにある。

本誌の投稿資格は、原則として地域・社会科学系に所属する教官、および同系の構成分野と関連する琉球大学教養部の教官であるが、共著者として大学院生や他大学、他研究機関の研究者も加えることができる。

平成7年3月に発行された創刊号は、8編の学術論文が収められた。ちなみに、同号は、平成6年3月に定年退官された我喜屋良一教授(社会福祉学)の退官記念号として編まれた。また、第2号(同8年3月発行)では、5編の論文が掲載された。

掲載される原稿は、現時点では研究論文のみであり、研究ノートや書評、研究室便りなどのスペースは設けられていないが、今後はこれらを含めることによって、紀要全体としての充実を図っていきたいと考えている。

(法文学部：安藤由美)

図書館ボランティア活動開始

図書館では11月1日からボランティア活動を開始した。これは平成8年度附属図書館が大学図書館として、より「生涯学習教育」に対応した活動を目指そうとボランティア導入を決定したことに始まる。当初、図書館でのボランティアが、沖縄県の諸事情や、またボランティア導入が琉球大学では初めてのことなどから、果たして募集どおり集まるか心配されたが、予想を上回る応募があった。

募集面談・実務研修を終え、26名のボランティアが誕生し、現在は月曜日から金曜日までの午前2時間、午後3時間のそれぞれの時間帯で活動を行っている。なお、身体障害者への補助、留学生等への援助を希望される方は事前に資料サービス係（内線：2141）にお問合せ下さい。

〔ボランティア活動開始までの経過〕

導入決定：平成8年6月13日（附属図書館運営委員会）

規程制定：平成8年8月2日（第1回ボランティア活動委員会開催）

公募期間：平成8年9月2日～9月13日
（資料請求者 65名）

申込期間：平成8年9月17日～9月24日
（申込者 28名）

受入審査：平成8年9月25日～9月30日

研修実施：平成8年10月4日～10月18日
（25名）

ボランティア発足式：平成8年10月31日
（23名出席）

ボランティア活動許可者：26名
（男性1名、女性25名）

年齢構成： 50代 40代 30代 20代 10代
人数(名)： 2 5 5 12 2

なお、10代、20代に学生・大学院生の5名を含む。

ボランティアの主な動機：人の役に立ちたい、自分を高めたい、沖縄のことをもっと知りたい、地域の人々との関わり、図書館と本が好き、余暇の有効利用、活動内容に興味、図書館司書を目指している、豊かな人間形成、自分の能力を試したい、他

ボランティア活動開始日：平成8年11月1日
活動形態：月曜日～金曜日の午前10時～12時、午後1時～4時の時間帯

活動内容：沖縄関係資料室・国際資料室の整備、身体障害者への補助、留学生等への援助、利用案内（パソコン、CD-ROM）、図書の貸出・返却、各種催し補助（展示会、映画会）
（中澤 富男：情報サービス課長）



図書館職員とボランティア
（図書館玄関前にて）



ボランティア代表者の挨拶
（ボランティア発足式にて）

沖繩関係資料新着案内

1996年9月～1996年10月

0類 総 記

1. 館蔵琉球資料目録／国立中央図書館臺灣分館参考服務組編 台北：国立中央図書館臺灣館, 1989.12 K029.1224-KO
2. 二十五年の歩み／創立25周年記念実行委員会編 那覇：那覇西ロータリークラブ, 1990. 2 K061-SO
3. 歴代宝案：訳注本；第1冊／沖縄県立図書館史料編集室編；和田久徳訳注 那覇：沖縄県教育委員会, 1994. 3 K093.2-RE
4. 歴代寶案：校訂本；第11冊／沖縄県立図書館史料編集室編；和田久徳校訂 那覇：沖縄県教育委員会, 1992.1- K093.2-RE
5. 大雑書(歴書関係)：トキ双子 京：文献出版, 1996. 6 K201-MI
4. 沖縄：戦争と平和／大田昌秀著 東京：朝日新聞社, 1996. 9 (朝日文庫) K201-OT
5. 源為朝琉球渡来／與那嶺正秀著 大里村(沖縄県)：與那嶺正秀, [1996. 7] K201-YO
6. 15年戦争の証言：太平洋戦争・沖縄戦終結50周年記念／沖縄県総務部知事公室平和推進課編 那覇：沖縄県総務部知事公室平和推進課, 1996. 3 K201.7-OK
7. 九州・その歴史展開と現代／丸山雍成著 東京：文献出版, 1994. 6 K210-MA
8. 根路銘誌／宮城倉栄[編集] 大宜味村：根路銘区, 1985.12 K211-MI
9. 備瀬史／仲田栄松編 宜野湾：ロマン書房, 1990. 8 K214-NA
10. 前堂盛松日記：アルゼンチン・ウルグアイ移民資料；上／具志川市史編さん室編 具志川：具志川市教育委員会, 1996. 3 (具志川市史編集資料／具志川市史編さん室編, 9) K219.9-GU

1類 哲 学

1. 生涯発達：人間のしなやかさ／前原武子編著 京都：ナカニシヤ出版, 1996. 4 K143-MA
2. 犬のこころ・子どものこころ：発達心理学レポート／松岡素子著 東京：誠文堂新光社, 1995.12 K143.8-MA
3. 巫女の文化／倉塚暉子著 東京：平凡社, 1994. 2 (平凡社ライブラリー, 39) K169.3-KU
11. 名護市の人物誌：ふるさとの先人たち；1／名護市史編さん室編 名護：名護市教育委員会, 1989. 3 (名護市史研究資料, 47) K219.9-NA
12. 名護市の人物誌：戦前の人名録にみる先人たち：明治36年各字の戸主名簿；2／名護市史編さん室編 名護：名護市教育委員会, 1991. 3 (名護市史叢書, 10) K219.9-NA

2類 歴 史

1. 重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」：総括班・沖縄3研究班合同研究会報告集／領域代表者岩崎宏之 つくば：岩崎宏之, 1996. 8 K200.7-IW
2. わが教育の原点：こころのふるさと沖縄から／丸木政臣著 東京：新日本出版社, 1996. 7 K201-MA
3. 琉明・琉清交渉史の研究／宮田俊彦著 東 京：文献出版, 1996. 6 K201-MI
4. 沖縄：戦争と平和／大田昌秀著 東京：朝日新聞社, 1996. 9 (朝日文庫) K201-OT
5. 源為朝琉球渡来／與那嶺正秀著 大里村(沖縄県)：與那嶺正秀, [1996. 7] K201-YO
6. 15年戦争の証言：太平洋戦争・沖縄戦終結50周年記念／沖縄県総務部知事公室平和推進課編 那覇：沖縄県総務部知事公室平和推進課, 1996. 3 K201.7-OK
7. 九州・その歴史展開と現代／丸山雍成著 東京：文献出版, 1994. 6 K210-MA
8. 根路銘誌／宮城倉栄[編集] 大宜味村：根路銘区, 1985.12 K211-MI
9. 備瀬史／仲田栄松編 宜野湾：ロマン書房, 1990. 8 K214-NA
10. 前堂盛松日記：アルゼンチン・ウルグアイ移民資料；上／具志川市史編さん室編 具志川：具志川市教育委員会, 1996. 3 (具志川市史編集資料／具志川市史編さん室編, 9) K219.9-GU
11. 名護市の人物誌：ふるさとの先人たち；1／名護市史編さん室編 名護：名護市教育委員会, 1989. 3 (名護市史研究資料, 47) K219.9-NA
12. 名護市の人物誌：戦前の人名録にみる先人たち：明治36年各字の戸主名簿；2／名護市史編さん室編 名護：名護市教育委員会, 1991. 3 (名護市史叢書, 10) K219.9-NA
13. 八重山の戦争／大田静男著 那覇：南山社, 1996 (シリーズ・八重山に立つ, 1) K219.9-OT
14. 北中城村史；第2巻. 民俗編／北中城村史編纂委員会 北中城村(琉球中頭郡)：北中城村, 1996. 3- K227-KI
15. 仲里の民話／仲里村史編集委員会編 仲里村(沖縄県)：仲里村, 1995. 8 (仲里村史／仲里村史編集委員会編, 第4巻 資料編3) K237-NA

16. 大久米島展：特別展しぜん・ひと・もの／
沖縄県立博物館編 那覇：沖縄県立博物館，
1996. 7 K237-OK
17. 平良市自然環境保全基本構想／沖縄国際大
学南島文化研究所〔編〕平良市（沖縄県）：
平良市，1996. 3 K241-OK
18. 竹富町誌／竹富町誌編集委員会編 竹富町
（沖縄県）：竹富町役場，1974. 3 K253-TA
19. 金武町海岸植物調査報告書／金武町教育委
員会〔編〕金武町（沖縄県）：金武町教育委
員会，1996. 3 K270-KI
20. 名瀬市誌；1巻／改訂名瀬市誌編纂委員会
編 名瀬（鹿児島県）：名瀬市，1996. 7
K270-NA
21. 名瀬市誌；2巻／改訂名瀬市誌編纂委員会
編 名瀬（鹿児島県）：名瀬市，1996. 7
K270-NA
22. 名瀬市誌；3巻／改訂名瀬市誌編纂委員会
編 名瀬（鹿児島県）：名瀬市，1996. 7
K270-NA
23. 激動の沖縄：郷土を造る人々／帝国調査会
〔編〕東京：帝国調査会政経調査所，1978.
7 K280.3-GE
24. 時代を彩った女たち：近代沖縄女性史／琉
球新報社編 那覇：ニライ社 PUB：〔出版
地不明〕：新日本教育図書（発売），1996. 9
K280.9-RY
25. 糸嶺家傳／糸嶺篤義〔著〕〔出版地不明〕：
〔糸嶺篤弼〕，1958. 5 K288.3-IT
26. 平安朝歌合大成；第1巻／萩谷朴著 京都：
同朋舎出版，1995. 5 - K289-HA
27. 金城山戸：彼の歩んだ道／モエミー編 南
風原町（沖縄県）：南風原町教育委員会，
1987. 6 K289-MO
28. 西銘順治研究／佐久田繁編著 那覇：月刊
沖縄社，1990.11（現代トップの条件，1）
K289-NI
29. なにくそやるぞ；続／具志堅宗精著 那覇：
琉鵬会，1969 K289.1-GU
30. 学校現場から：師魂を求めて／仲村起徳著；
沖縄自分史センター編 沖縄：仲村起徳，
〔199-〕 K289.1-NA
31. 名護親方程順則資料集；1：人物・伝記編
／名護市史編さん室編 名護：名護市教育委
員会，1991（名護市史叢，11） K289.1-NA
32. 楽園の花嫁：宮古・来間島に渡った日々／
砂川智子著 那覇：ボーダーインク，1996.
9 K290-SU
33. 沖縄地名考／宮城真治著；宮城真治資料研
究会，名護市史編さん室編 名護：名護市教
育委員会，1988. 3（名護市史叢書，5. 宮城
真治資料；2） K290.34-MI
34. 60年前の南風原：南風原歴史民俗地図
（1935年頃）南風原町（沖縄県）：沖縄県南
風原町史編集委員会民俗部会，1994. 3
K290.38-HA
35. 沖縄 東京：昭文社，1996. 1（エアリア
マップ，マップルガイド43） K290.38-OK
36. 沖縄県広域詳細道路地図：全市拡大図収録
東京：昭文社，1996. 7（県別マップル，47）
K290.38-OK
37. ゼンリン住宅地図：沖縄県：宜野湾市；
1996 北九州：ゼンリン，1994- K290.38-ZE
38. Ryukyu islands and Okinawans; sight-
seeing and lifestyle/by Kiyoshi Nakachi
Naha City, Okinawa: Okinawa Times, c1996
K290.9-NA
39. 沖縄／旅行図書編集部編 東京：山と溪谷
社，1996. 5（ジェイ・ガイド，Area）
K290.9-OK
40. 沖縄／ニューガイド編集部編 東京：弘済
出版社，1996. 5（ニューガイド私の日本）
K290.9-OK
41. 沖縄／ブルーガイド編集部編 東京：実業
之日本社，1996. 5（New ブルーガイドブッ
クス／ブルーガイド編集部編） K290.9-OK
42. 沖縄・南西諸島／あるっく社編集部編 東
京：あるっく社，1994. 8（歩く地図S，25）
K291.9-AR
43. 九州・沖縄のホテルオールガイド／ブルー
ガイド国内版出版部著 東京：実業之日本社，
1996. 1（ブルーガイドニッポンα，110）
K291.9-JI

3類 社会科学

1. 新琉球地域文化論グラフィティ：現代おき
なわ若者教養講座／チームT・A「地域科学」

- 研究室'95編著 那覇：ポーターインク、
1996. 9 K302-CH
2. いま語る沖縄の思い／井上澄夫編 東京：
技術と人間、1996. 7 K302-IN
3. 沖縄の心にふれる旅：乱開発拒否宣言／久
慈力著 東京：三一書房、1996. 5 K302-KU
4. 《特集》環東シナ海の比較文化 東京：勉
誠社、1996. 5（日中文化研究：21世紀の地
球文化創造への指針／大林太良[ほか]編、9）
K302-NI
5. 拒絶する沖縄：日本復帰と沖縄の心／大田
昌秀著 東京：近代文芸社、1996. 7
K302-OH
6. 沖縄文化論：忘れられた日本／岡本太郎著
東京：中央公論社、1996. 6（中公文庫、お-54
-1） K302-OK
7. 沖縄：その危機と神々／谷川健一 [著]
東京：講談社、1996. 4（講談社学術文庫、
[1223]） K302-TA
8. 琉球弧（うるま）の発信：くにざかいの島々
から／高良勉著 東京：御茶の水書房、
1996. 4 K302-TA
9. 夕陽の証言／新城俊昭著 中城村（沖縄県）
：むぎ社、1996. 8（若太陽文庫、2）
K304-WA
10. 宮良村誌／宮良村誌編集委員会 [編集]
[石垣]：宮良公民館、1986. 5 K311-MI
11. 琉球政府の時代：図録：開館一周年記念特
別展／沖縄県公文書館編 南風町：沖縄県公
文書館、1996. 8 K317.038-OK
12. 日本叙勲者名鑑；第3巻：自昭和47年4月
至昭和48年4月 東京：日本叙勲者協会 日
勲（発売）、1974 K317.5-NI
13. 那覇市議会史；第3巻上 資料編2：議会
の活動／那覇市議会事務局議会史編さん室編
那覇：那覇市議会、1996. 3- K318.4-NA
14. 日米関係のなかの沖縄／我部政明著 東京：
三一書房、1996. 8 K319-GA
15. 基地に囲まれた学校：“代理署名拒否裁判”
から奪われた証言／山本隆司著 東京：沖縄
県民間教育研究所、1996. 7（沖民研ブック
レット、1） K319.8-YA
16. 借地借家法／甲斐道太郎、石田喜久夫編
東京：青林書院、1996.10 K324.81-KA
17. 沖縄・大交易ルネッサンス／吉川博也、緒
方修編著 東京：社会評論社、1996. 6
K332-YO
18. 沖縄・台湾産業交流事業等報告書；I／南
西地域産業活性化センター [編] 那覇：南
西地域産業活性化センター、1995. 3-1996. 3
（南西地域の産業活性化に関する調査研究等
補助事業、平成6年度、平成7年度）
K333.8-NA
19. 沖縄・台湾産業交流事業等報告書；II／南
西地域産業活性化センター [編] 那覇：南
西地域産業活性化センター、1995. 3-1996. 3
（南西地域の産業活性化に関する調査研究等
補助事業、平成6年度、平成7年度）
K333.8-NA
20. 国内産業交流事業等報告書／南西地域産業
活性化センター [編] 那覇：南西地域産業
活性化センター、1996. 3（南西地域の産業
活性化に関する調査研究等補助事業、平成7
年度） K333.8-NA
21. いま、南風原から移民を考える：シンポジ
ウムの記録／[南風原町教育委員会編] [南
風原町（沖縄県）]：沖縄県南風原町教育委
員会、1988. 3 K334.4-OK
22. 沖縄県人サンフランシスコ移住百周年記念
誌／上原松美 [ほか] 編 Caneron park：
北加沖縄県人会、1996. 4 K334.4-UE
23. A dream of riches: the Japanese Cana-
dians; 1877-1977／[Japanese Canadian
Centennial Project Committee] [Van-
couver: Japanese Canadian Centennial
Project, c1978] K334.451-JA
24. 沖縄県摸合実態調査／沖縄相互銀行 那覇：
沖縄相互銀行、1979. 3 K338.7-OK
25. G・H・ミードと伊波普猷：プラグマティズ
ムと沖縄学／河村望著 東京：新樹社、1996.
3 K361.2-KA
26. 沖縄におけるライフコースのコーホート間
比較調査中間報告：調査報告書 [西原町
（沖縄県）]：琉球大学法文学部社会学学科、
1995. 9 K361.9-OK
27. 沖縄県における若年者雇用機会創出プログ
ラム：人的資源の育成と社会的資源の適正配
置システムを中心に／沖縄労働経済研究所

- [編] 那覇：沖縄労働経済研究所, 1996. 3
K366.2-OK
28. 沖縄教育史／上沼八郎著 [東京]：上沼八郎, [197-]
K372-KA
29. 南風原の学童疎開：もうひとつの沖縄戦／吉浜忍編 南風原町（沖縄県）：南風原町教育委員会, 1991. 3
K372-YO
30. ムギメシヒトツ ココフタツ／与那原町学童疎開史編集委員会編 与那原町（沖縄県）：与那原町教育委員会, 1995. 8（与那原の学童集団疎開／与那原町学童疎開史編集委員会編, 第1部（体験集））
K372-YO
31. 台湾教育史／上沼八郎著 [東京]：上沼八郎, 1975. 8
K372.2-KA
32. 英語学の窓：英語統語論概説／下地良男著 東京：英宝社, 1996. 8
K375.89-SH
33. 子どもの全脳開発：沖縄で子育てを考える／千葉康則 [ほか] 著 那覇：ニライ社 PUB：東京：新日本教育図書（発売元）, 1996. 9
K376.1-CH
34. 實年の三四士会誌；第2号／旧沖縄県立農林学校昭和十三年三月十一日卒業生編 具志川：安田繁史, 1996. 8
K376.6-KY
35. 比謝の流れはとこしえに：県立農林42期回想録／県立農林第42期回想録編集委員会編 沖縄市：沖縄県立農林学校第42期同期生会, 1996. 6
K376.6-OK
36. 琉球大学開学40周年記念シンポジウム（報告）：21世紀の沖縄と琉球大学の使命／[琉球大学庶務部庶務課編] 西原町（沖縄県）：琉球大学庶務部庶務課, 1990.12
K377.1-RY
37. 伊江村青年会創立40周年記念誌／伊江村青年会創立40周年記念誌編集委員会編 伊江村（沖縄県）：伊江村青年会, 1991. 5
K379.3-IE
38. 異態習俗考／金城朝永著 東京：批評社, 1996. 1
K380-KI
39. 奄美の民俗／田畑英勝著 東京：法政大学出版局, 1976.12
K382-TA
40. 写真で見る旧泊崇元寺町高橋町前島町の変遷／とまり会 [編] 糸満：文進印刷, 1996. 9
K382-TO
41. 津嘉山大綱曳き：調査報告書／南風原町史編集委員会（南風原文化センター内）津嘉山大綱曳き合同調査委員会編 南風原町（沖縄県）：南風原町教育委員会, 1994. 3
K386-HA
42. 民話の原風景：南島の伝承世界／福田晃, 岩瀬博編 京都：世界思想社, 1996. 5（Sekaishiso seminar）
K388-FU
43. ふるさとの民話南風原町；第1集／南風原民話の会 [編] [南風原町（沖縄県）]：南風原町教育委員会, [1981.1]
K388-HA
44. おきなわの民話百選／おきなわの民話百選刊行委員会編 那覇：沖縄県生活福祉部児童家庭課, 1996. 3
K388-OK
45. 大木・牧原・長田の民話／読谷村教育委員会, 歴史民俗資料館編 読谷村（沖縄県）：読谷村教育委員会；歴史民俗資料館, 1996. 7（読谷村民話資料集／読谷村立歴史民俗資料館編, 13）
K388-YO
46. 奄美歌掛けのディアログ：あそび・ウワサ・死／酒井正子著 東京：第一書房, 1996. 8
K388.9-SA
47. アイヌ、いま：北国の先住者たち／西浦宏己著 東京：新泉社, 1984.12
K389-NI

4類 自然科学

1. 熱帯科学に関するシンポジウム：報告／琉球大学庶務部企画調査室 [編] 西原町（沖縄県）：琉球大学庶務部企画調査室, 1990. 7
K404-RY
2. 沖縄地方の地震活動（1988年～1994年）：テレメータシステム整備後の地震資料 [那覇]：沖縄气象台, 1996. 3
K453-OK
3. 生物統計学入門：計算マニュアル／新城明久著 東京：朝倉書店, 1996.10
K461.9-SH
4. 沖縄の帰化動物：海をこえてきた生きものたち／沖縄県立博物館編 那覇：沖縄県立博物館, 1996. 3
K481.7-OK
5. サンゴ礁分布図 [東京]：環境庁, 1996. 7（自然環境保全基礎調査, 第4回・海域生物環境調査）
K481.72-SHI
6. おきなわ蝶物語／安次嶺馨著 那覇：ニライ社 PUB：東京：新日本教育図書（発売元）, 1996. 9
K486.8-AS
7. 沖縄の疾病とその特性／琉球大学医学部附属地域医療研究センター編 福岡：九州大学

出版会, 1996. 9

K498.2-RY

5類 工 学

1. 入浜権: 海岸線を守る手づくりの思想/高崎裕士, 木原啓吉編 東京: ジャパン・パブリッジャーズ, 1977. 8 K519.5-TA

6類 産 業

1. 集積・地場産業活性化対策調査事業報告書; 平成7年度 那覇: 南西地域産業活性化センター, 1996. 3 K602-NA
 2. 中部地区青年農業者育成確保の基本方向; 経営感覚に優れた心豊かな青年農業者の育成・確保/[中部地区農業後継者育成確保対策協議会編] [出版地不明]: [沖縄県中部農業改良普及センター], 1995. 3 K611.92-CH
 3. 染料植物譜/後藤捷一, 山川隆平編 京都: 民芸織物図鑑刊行会はくおう社 PUB: 京都: 京都書院(発売), 1972 K617.8-GO
 4. 久米島県立自然公園候補地学術調査報告/沖縄自然研究会編 [那覇]: 沖縄県, 1974. 3 (沖縄自然研究会調査報告/沖縄自然研究会編, 第1号) K629.39-OK

7類 芸 術

1. 世界に誇る・琉球王朝文化遺産展: ヨーロッパ・アメリカ秘蔵/ドイツ-日本研究所編集 東京: ドイツ-日本研究所, 1992. 9 K709-DO
 2. 南風原の文化財/南風原町教育委員会 [編] 南風原町(沖縄県): 南風原町教育委員会, 1991. 3 (文化財要覧, 3) K709.2-HA
 3. 安谷屋正義: 絵と文 那覇: 安谷屋正義作品集刊行会, 1973. 7 K720-AD
 4. 安谷屋正義回顧展 [出版地不明]: [出版者不明], 1979 K720-AD
 5. 久場島清輝展: 特別企画/石垣市立八重山博物館編 石垣: 石垣市立八重山博物館, 1990. 3 K721-KU
 6. ゆかいな魚大集合: 井上慎也写真集/井上慎也著 東京: 講談社, 1996. 6 K740-IN

7. 安室奈美恵の超真相: アムラーに捧げる秘密の話/中山美也子&特別取材班著 東京: ベストセラーズ, 1996. 7 (ベストセラーシリーズ「ワニの本」) K760-AM
 8. 安室奈美恵・太陽のHEART BEAT: 沖縄美少女の夢と青春/安室奈美恵同窓会一同著 西宮: 鹿砦社, 1996. 7 K760-AM
 9. 琉球欽定楽譜湛水流: 声楽工工四と五線譜付 東京: 民俗芸能全集刊行会, 1965 (民俗芸能全集/山内盛彬著, 第6) K760-MI
 10. 風薫る歌の花束: 崎山任作曲集/崎山任 [著] 宜野湾: おき書房, 1994. 6 K760.7-SA
 11. 情歌八重山トバラマ集: 無形文化財(民謡保存)/大浜方叶編集 [出版地不明]: [文林堂学院], 19-- K767-3H
 12. 沖縄新民謡の系譜/大塚学著 那覇: ひるぎ社, 1996. 8 (おきなわ文庫, 78) K767.5-OS
 13. [野村流古典音楽保存会] 創立20周年記念誌総覧/野村流古典音楽保存会 [編] [那覇]: 野村流古典音楽保存会, [1975] K768-NO
 14. 沖縄伝武備志/大塚忠彦訳 東京: ベースボール・マガジン社, 1991. 5 K789.2-OH

8類 語 学

1. 続うちなまぐちフィーリング/儀間進著 那覇: 沖縄タイムス社, 1996. 8 K800-GI
 2. 琉球で生まれた共通語/永田高志著 東京: おうふう, 1996. 6 (地域語の生態シリーズ 琉球篇) K800-NA
 (仲宗根政善言語資料/仲宗根政善著)
 [琉球大学附属図書館(製作)]: 沖縄県立芸術大学, [1996] K880-NA
 1. 音韻変化: 子音; 音韻変化: さまざまな音韻変化現象
 2. 音韻変化: 母音; 琉球方言における音韻変化の現象 1, 2
 3. 音韻体系: 音韻調査資料; I-II
 4. 音韻体系: 音韻調査資料; III-IV
 5. 今帰仁村の各字の音韻体系; 音韻体系V: 本部・羽地・伊江島

6. 今帰仁与那嶺の方言アクセント；I-III
 7. 今帰仁与那嶺の方言アクセント；IV
 8. 今帰仁与那嶺の方言アクセントVV；動詞のアクセント：活用形とアクセント・活用のタイプとアクセント
 9. 今帰仁方言：音韻変化総論；その1，その2
 10. 今帰仁方言：語法；基礎語彙：与那嶺方言
 11. 与那嶺方言動詞一覧；I（その1，2），II（その1，2）
 12. 与那嶺方言動詞一覧III；動詞に接続する接辞；与那嶺方言動詞一覧IV；動詞・助動詞の活用形
 13. 動詞の活用形；動詞語彙I
 14. 動詞語彙；II
 15. 動詞語彙；III-IV
 16. 動詞語彙V；動詞・形容詞の活用形と助詞の接続；形容詞・動詞語彙索引；標準語引
 17. 今帰仁方言辞典索引（語形一覧）；その1，その2
 18. 形容詞語彙；形容詞：活用形；副詞／仲宗根政善著
 19. 擬声語・擬態語；助詞I：格助詞（その1，その2）
 20. 助詞：格助詞；助詞：副助詞・接続助；II-III
 21. 助詞；IV-VI
 22. 助詞VII；助詞・助動詞；助詞の比較研究資料；副詞・感動詞・接続詞・連体詞
 23. 接辞・重言；琉球方言特記語彙集；標準語特記語彙集；言語地図作成のための調査ノート
 24. アクセント調査・研究ノート；アクセントの研究ノート；形容詞調査ノート；動詞研究ノート
 25. 助詞・助動詞の研究ノート；琉球方言研究史；今帰仁方言の研究ノート
 26. 調査要領・調査票；その1，その2
 27. 特殊語彙集；音韻調査ノート
- 編集，13） K900-BU
 2. 人生と恋／森朝男〔ほか〕執筆 東京：勉誠社，1994.8（古代文学講座／古橋信孝，三浦佑之，森朝男編集，4） K900-FU
 3. 比較文学の小道／畠中敏郎著 大阪：畠中敏郎先生論集刊行会（大阪外国語大学フランス会内），1973 K900-HA
 4. 現代文学にみる沖縄の自画像／岡本恵徳著 東京：高文研，1996.6 K900-OK
 5. 牧歌：歌集／川俣和著 東京：印美書房，1973（くぐひ叢書，第28篇） K911.16-KA
 6. 青春彷徨の彼方に：短篇とエッセー／当銘芳郎著 沖縄市：オキナワ表現企画，1996.6 K911.368-TO
 7. 宮古島物語／久貝徳三著 浦添：ゲンダイ経営出版社，1996.5 K913.6-KU
 8. 宮城竜一郎作品集 八王子：宮城竜一郎作品集刊行会〔東京〕：審美社事業部（製作），1974 K913.6-MI
 9. 佐々木薫詩集／佐々木薫著 東京：表現社，1995.12（現代詩人精選文庫，第58巻） K917-SA
 10. 貌の詩碑：建立報告書／山之口貌詩碑建立期成会〔編〕 那覇：山之口貌詩碑建立期成会，1976.3 K917-YA
 11. 沖縄の怒り：コザ事件・米兵少女暴行事件／伊佐千尋著 東京：文芸春秋，1996.6（文春文庫） K930-IS
 12. 記憶の海／森啓著 東京：近代文芸社，1996.3 K930-MO
 13. 椎の川／大城貞俊著 東京：朝日新聞社，1996.8（朝日文芸文庫） K930-OS
 14. 残照／山内登郎著〔静岡〕：〔大衆文学しずおか〕，1996.4（大衆文学しずおか叢書，2） K930-YA
 15. Youth青春：英和对訳：澤田清詩集／澤田清著 那覇：沖縄パシフィックプレス社，1995.6（Okinawa pacific books） K931-SA
 16. うちな～妄想見聞録：藤木勇人のラビリンスワールド／藤木勇人著 浦添：沖縄出版，1996.9 K940-FU
 17. 英語おもしろ小話／石嶺榮一著 那覇：沖縄タイムス社，1996.8 K940-IS

9類 文 学

1. 特集・火野葦平の全貌／叙説舎編 福岡：花書院，1996.8（叙説：文学批評／叙説舎

18. 二〇世紀の黄昏：社会・経済評論／随筆集
／久場政彦著 那覇：ひるぎ社, 1996. 5
K940-KU
19. わたしの戦争日記／永村美代子著 那覇：
永村美代子, 1991.12 K940-NA
20. 落穂集：心のアルバム／与那城朝倬著
[出版地不明]：[与那城朝倬], [1970]
K940-YO
21. 宮城が語る沖縄戦／吉浜忍編 南風原町
(沖縄県)：南風原町教育委員会, 1987. 5
(南風原町沖縄戦戦災調査, 3) K950-HA
22. 宮平が語る沖縄戦／南風原町史編集事務局
編 南風原町(沖縄県)：南風原町教育委員
会, 1993. 3 (南風原町沖縄戦戦災調査, 7)
K950-HA
23. 山川が語る沖縄戦／南風原町史戦災調査部
会編 南風原町(沖縄県)：南風原町史編集
委員会, 1994. 3 (南風原町沖縄戦戦災調査,
8) K950-HA
24. 照屋が語る沖縄戦／南風原町史戦災調査部
会編 南風原町(沖縄県)：南風原町史編集
委員会, 1995. 3 (南風原町沖縄戦戦災調査,
9) K950-HA
25. 大名が語る沖縄戦／南風原町史編集事務局
編 南風原町(沖縄県)：南風原町教育委員
会, 1993. 5 (南風原町沖縄戦戦災調査, 6)
K950-HA
26. 津嘉山が語る沖縄戦／吉浜忍編 南風原町
(沖縄県)：南風原町教育委員会, 1988. 6
(南風原町沖縄戦戦災調査, 4) K950-HA
27. 与那覇が語る沖縄戦／南風原町史編集事務局
編 南風原町(沖縄県)：南風原町教育委員
会, 1992. 4 (南風原町沖縄戦戦災調査, 5)
K950-HA
28. ひめゆり同窓会：東京支部55周年記念誌／
ひめゆり同窓会東京支部著 東京：ルック,
1995. 5 K950-HI
29. 疎開船対馬丸：沖縄の民／石野徑一郎著
東京：旺文社, 1975. 8 (旺文社文庫)
K950-IS
30. 日本・ブラジル交流人名事典／パウリスタ
新聞社編 東京：五月書房, 1996. 2
R334.462-PA

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

本学教官著作寄贈図書案内

1996年9月～1996年10月

- 新垣 進(法文学部)
借地借家法／甲斐道太郎, 石田喜久夫編 東
京：青林書院, 1996.10 K324.81-KA
- 山口 正士(理学部)
Nearshore marine resources of the South
Pacific: information for fisheries devel-
opment and management／edited by An-
drew Wright & Lance Hill, Suva [Fiji]:
Institute of Pacific Studies, 1993
K334.7-WR
- 新城 明久(農学部)
生物統計学入門：計算マニュアル／新城明久
著 東京：朝倉書店, 1996.10 K461.9-SH
- 岡本 恵徳(法文学部)
現代文学にみる沖縄の自画像／岡本恵徳著
東京：高文研, 1996. 6 K900-OK
- 竹中 静廣(医学部)
教科別保健婦・保健士国家試験問題：その傾
向と対策：1997年度／竹中静廣監修 吹田：
メディカ出版, 1996. 8 WY18

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

図 書 館 事 情

◎附属図書館長の交替

比嘉良充館長（教養部教授）の任期満了に伴い、後任に理学部の金城昭夫教授が平成8年11月1日付けで発令され、第20代附属図書館長に就任した。

[金城昭夫図書館長略歴]

学位称号：Ph.D. 専門分野：物理化学

1968（昭和43）年 インディアナ大学大学院博士課程化学専攻終了

1968（昭和43）年 琉球大学教養部助教授

1972（昭和47）年 琉球大学理工学部助教授

1973（昭和48）年 琉球大学理工学部教授

1979（昭和54）年 琉球大学理学部教授

1981（昭和56）年 琉球大学評議員（～昭和60年3月）

1987（昭和62）年 琉球大学学生部長（～平成元年6月）

1991（平成3）年 琉球大学評議員（～平成7年3月）

1996（平成8）年 琉球大学附属図書館長

[人事移動]

（平成8年10月1日発令）

氏 名	現 官 職	前 官 職	備 考
古 謝 久美子	情報管理課総務係	新採用	人事課付
山 城 美智江	医学部事務部総務課庶務係	情報管理課総務係	

[会議]

◎第213回図書館運営委員会

日時：平成8年12月9日（月）

15時10分～15時50分

場所：附属図書館会議室

[報告事項]

- 1) 図書館ボランティアの活動状況について
- 2) 電子図書館機能検討委員会の審議について
 - ・CD-ROM購入計画案について
 - ・「沖縄学」関係データベース形成に向けての科研費の申請について
- 3) 前期学生用図書教官選書の納入状況中間報告
- 4) 後期学生用図書教官選書の依頼について
- 5) 平成8年度文部省学術情報課採択予算について
- 7) その他
 - ・支払遅延防止法と図書の購入方法について
 - ・読書案内の執筆依頼について

◎第1回電子図書館機能検討委員会

日時：平成8年10月14日（月）

15時～16時

場所：附属図書館会議室

[協議事項]

- 1) CD-ROMの購入計画について
- 2) 「沖縄学」関係データベースの形成について

◎第2回電子図書館機能検討委員会

日時：平成8年11月20日（水）

15時～16時

場所：附属図書館会議室

[協議事項]

- 1) CD-ROMの購入計画について
 - ・CD-ROM市販データベースの選定について
- 2) 「沖縄学」関係データベースの形成について
- 3) 将来構想の討論にむけて

◎第30回沖縄研究資料調査収集専門委員会

日時：平成8年11月29日（金）

15時10分～16時20分

場所：附属図書館会議室

[協議事項]

- 1) 「沖縄研究資料調査収集」について
- 2) その他

[講習会]

◎平成8年度目録システム・NACSIS-IR地域講習会の開催

目録システム地域講習会は平成8年12月2日から4日まで、NACSIS-IR地域講習会は12月5日から6日までの期間、学術情報センターとの共催で沖縄地区における地域講習会を開催した。

今回の講習会には他大学及び琉球大学からそれぞれ10名余の参加者があった。

[講演会]

◎平成8年度第2回沖縄県大学図書館協議会講演会の開催

日時：平成8年10月8日（火）

15時30分～16時30分

場所：附属図書館多目的ホール

演題：「大学改革の中の大学図書館について」

演者：筑波大学附属図書館部長
森 茜

◎平成8年度第3回沖縄県大学図書館協議会講演会の開催

[講演会A]

日時：平成8年11月12日（火）

14時～15時

場所：附属図書館多目的ホール

演題：「図書館の電算化について」

演者：琉球大学附属図書館システム管理係長
宮里 愿

[講演会B]

日時：平成8年11月12日（火）

15時15分～16時45分

場所：附属図書館多目的ホール

演題：「ボランティア活動と生涯学習」

演者：沖縄県教育庁生涯学習振興課
金城 裕江

[展示会]

◎アール・プール文庫貴重資料展について
平成8年10月21日（月）から10月30日（水）

まで附属図書館1階多目的ホールにおいて宣教師プールの展示会を開催しました。

プールの師は明治44年に沖縄へ夫人と共に来島し、1926（大正15）年に米国へ帰国したが、その間、鹿児島を拠点に沖縄へ度々来島し、県下の中学校の生徒に英語の指導をする傍ら、布教に努めてきました。この間、泊の外人墓地の修復や教会の設立に並々ならぬ尽力をなし、沖縄の貧困な社会状況に救済を訴えた。

戦後は荒廃した沖縄のために、琉大の創立八周年を記念に生涯を通じて収集した膨大な沖縄関係資料（560余点）を寄贈した宣教師です。

展示資料はプールの師が精力的に研究し、収集した幕末の先駆的宣教師ベッテルハイムの資料や大正期にプールの師が撮影した沖縄の祭礼や首里城の正殿などの珍しいガラス写真等があり、その他に来島前の1910（明治43）年から戦後にいたるまでの日本、沖縄の宗教関係の記事や珍しい沖縄の習俗等の新聞切り抜きも展示しました。

今回の展示会は通算4回目にあたりますが、教職員、学生、一般社会人等これまでにない多数の見学者があり、好評を博し、大正期の沖縄に様々な貢献し、又、戦後、創立間もない蔵書の少ない本学に貴重なコレクションを寄贈したプールの師への再認識を深めた意義は大きい。

◎名画鑑賞会について（第3回）

附属図書館では下記の日程で第3回の名画を上映しましたが今回は3日間で延べ50名が鑑賞しました。特にオペラ座の怪人は若干のコメントがあったものの好評で25名が鑑賞しました。

場 所：図書館本館1階多目的ホール

実施月日：平成8年11月27日（水）

～11月29日（金）

上映時間：毎日午後2時～午後4時

11月27日（水）『オペラ座の怪人』約75分
内容：ブロードウェイ・ミュージカルであり、1990年にロバート・イングラッド主演、ガストン・ルルーの原作が初めて映画化されたのは、1925年でモノクロの無声映画。[物語] パリ・オペラ座に仮面に黒マントで怪人が出没、オペラ座の楽団員で解雇されたが、オペラ座から離れない理由は美しい一人娘を何とかプリマドンナにしてやりたいからで、巨大なシャンデリア

が落下し奇怪な事件が起こる。

11月28日(木)『審判』 約 118 分
 内容：奇才オーソン・ウェルズが脚本、監督、出演する裁判心理映画。この「審判」は、パークキンスが活動の本拠地をフランスに移動した頃の作品で、身に覚えのない罪を宣告された青年の異様な恐怖と不安を見事に演出している。ジョセフ・K (アンソニー・パークキンス) は、ある朝、突然、検察官と刑事に逮捕される。予審の折、法廷を飛び出し、不可解な容疑をはらすために、弁護士や、役所に顔のきく人物に相談したが、良い返事はもらえなかった。

11月29日(金)『羅生門』 87分

内容：「羅生門」は1950年、黒澤明監督により三船敏郎、京マチ子、森雅之等を主演に製作した平安朝末期の時代劇大作。1951年ベニス国際映画祭によってグランプリ、同年アメリカのアカデミー外国賞も受賞、黒澤は世界のクロサワになった。「羅生門」の原作は芥川龍之介の「藪の中」。この映画が観る人の感動を与えるものは、その強烈なテーマと鋭い演出力からくる凄まじい迫力である。

(紹介文は解説文より引用)

お知らせ

- ◎ 2月の試験期祝日開館について
 平成9年2月11日(火)は建国記念日ですが、試験期のため開館します。
 ・開館時間 13:00～17:00
- ◎ 長期貸出について
 長期貸出は平成9年2月19日(水)から開始します。
 返却期限は平成9年4月10日(木)迄です。
- ◎ 春季休業について
 平成9年2月22日(土)～平成9年3月31日(月)は春季休業で開館時間に
 変更があります。
 ・中央館の開館時間は月曜日～金曜日 8:30～17:00
 土曜日・日曜日 閉館
 ・医学部分館は通常どおり夜間開館を行います。
 月曜日～金曜日 8:30～21:00
 土曜日・日曜日 13:00～17:00

医学部分館だより

- ◎第36回医学部分館運営委員会が下記の通り開催された。
 日時：平成8年12月13日(金)
 16時～17時
 場所：医学部分館会議室
 [協議事項]
- 1) Index Medicus 月刊版(冊子体)の購入中止について
 [報告事項]
- 1) 電子図書館機能検討委員会について
- 2) 医学系図書館統計について
- 3) 製本雑誌について

琉球大学附属図書館報“びぶりお”第30巻 第1号(通巻第113号)

平成9年1月発行

発行 琉球大学附属図書館 〒903-01 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

電話 098(895)2221 内線(2143) 編集 びぶりお編集委員会

